

Montessori ちゃいるどほうす中吉田事業報告書

令和4年 3月25日
地球の子ども株式会社
代表取締役 乾 泰代

1. 事業目的と役割

全ての子どもたちが平等に教育を受けられるように養護と教育の一体化を図り、保護者と連携しながら保育を行う。また、誰もが主体的に関わることができる環境を整える。

地域の子育て支援を充実させるために、必要な援助を行う。

2. 保育所の運営

(1) 沿革・経営組織（入園時に配布した重要事項説明書に記載済）

(2) 開所日

月曜日～土曜日

(3) 開所時間

7:30～18:30（延長保育18:30～19:00）

(4) 休園日

日曜日、国民の祝日及び休日

年末年始（12月29日～1月3日）

法人が特別必要と認めた日

(5) 年齢別入所児数（令和4年3月1日現在）

0歳児 15名

1歳児 12名

2歳児 13名

3歳児 12名

4歳児 9名

5歳児 12名 合計73名

(6) 職員数（令和4年3月1日現在）

28名（園長1名 施設長1名 教育長1名 保育事務主任1名 保育主任1名

常勤保育士13名 パート保育士3名 保育補助4名 調理員2名 アル

バイト1名 外部バイリンガル講師1名・外部モンテッソーリ教育講師1名）

(7) 職員資格等

- ・保育士・幼稚園教諭・小中高特別支援学校教諭・言語聴覚士・栄養士・調理師
- ・レクリエーションインストラクター・幼児体育指導者・モンテッソーリ教育教師
- ・子育て支援員・児童厚生指導員・社会福祉主事・児童福祉司・知的障害者福祉司
- ・家族療法カウンセラー・チャイルドカウンセラー・行動心理士・チャイルドコーチ

ングカウンセラー・保育所長研修修了者・保育所主任保育士研修修了者・設備管理者
・防火管理者・衛生推進者

(8) 職員会議の開催状況

- ・職員全体会議（年1回3月）
- ・業務会議（毎月1回 第4火曜日の午睡時）
各行事の確認・内容検討・反省、給食の報告、月案に基づく環境会議
安全管理、ヒヤリハット、事例検討、その他の諸連絡
- ・リーダー会議（第2火曜日の午睡時）
- ・年間計画に基づく月案、週案、環境会議（毎週木曜日の午睡時）
- ・給食会議（第3火曜日の午睡時、各クラス4か月に1度）

(9) 職員資質向上のための研修

- ・全職員を対象に、専門性の向上を図るため、モンテッソーリ教育及び子どもの発達に関する園内研修を実施（研修実施報告については別紙参照）
- ・職員の外部研修参加の推奨（旅費全額支給、宿泊の場合出張手当有）
- ・毎月の園研修参加者には勤勉手当を支給（半日 3000 円、一日 7000 円）
- ・外部モンテッソーリ専門講師による保育現場での実践オンライン研修(草薙と行動)
(令和元年度よりコロナ感染対策として実施)
(1歳児以上各クラス毎月1回)

『実践研修の企画書作成➡保育室での実践➡振り返りのミーティング➡報告書作成』を行い、外部モンテッソーリ専門講師による参観・指導（オンライン）のもと研修を行う。

- ・外部バイリンガル専門講師によるバイリンガル実践オンライン研修（草薙と合同）
(全クラス毎週1回)

『lessen plan 作成➡保育室での実践➡フィードバックミーティング➡報告書作成』を行い、外部バイリンガル専門講師による参観・指導（オンライン）のもと研修を行う。

- ・モンテッソーリ教師資格養成コース受講の推奨（費用の全額補助）
→ 本年度対象職員0名
- ・当園主催の静岡モンテッソーリ教育研究会と北関東モンテッソーリ教育研究会によるオンラインセミナー開催(1月)
→ 対象職員10名

(10) 保育計画・記録等について

一人一人の成長発達にあった環境作りを達成する為に、以下の記録・文書を作成

- ・児童票に基づく個別の月案作成（毎月）
- ・月案に基づく週案作成（毎週木曜日の午睡時）
- ・日報（観察記録0歳～2歳）
- ・午睡チェック表（毎日0歳児）
- ・食物アレルギー調査票（毎月対象児）

- ・活動記録日誌（3歳～就学前）
- ・児童票記録（毎月）
- ・ヒヤリハット（随時）
- ・安全管理 危機管理チェックリストリスト（毎月）
- ・次年度引継ぎ表の作成（全園児3月作成）
- ・保育所児童保育要録（5歳児）

（1 1）クラス編成について

【1階フローアー】

人と環境との信頼関係・運動の獲得・言葉の獲得・身辺自立を目標に、個別の発達段階に合わせた保育を行うため、個人差の大きい0歳から3歳までの成長を以下のように4段階に分けて環境を構成し、個々の発達段階に応じた保育環境の実現を図る。

- 1段階目 歩けるようになるまで
- 2段階目 10歩くらい安定して歩けるようになった頃
- 3段階目 座って手指の活動ができるようになった頃、言葉が増える頃
- 4段階目 着脱、排泄、食事など日常生活の自立に向かって、自分の事を自分でやりたい気持ちが旺盛になってきた頃

1階フローアの歳児別グループ名は以下の通り

プーポ組（0歳児）ピッコロ組（1歳児）ピッチーノ組（2歳児）

【2階フローアー】

3歳から就学までの縦割クラス。

自分のことが自分でできるようになり、集団でのルールがわかるようになってからそれまでに獲得した運動機能をより洗練させ、お友達と一緒に知的好奇心を探究していく。モンテッソーリ教育の理念に基づき、日常生活の練習・感覚教育・算数教育・言語教育・文化教育（自然、音楽、美術、体育、理科、社会、食育）などの各分野の専門的な援助を行う。

2階フローアの歳児別グループ名は以下の通り

マーレ組（3歳児）テーラ組（4歳児）チェーロ組（5歳児）

（1 2）給食の実施

- （0歳児）園児の発育状況に合わせ、離乳食から普通食への段階別給食移行の提供
- （1歳児以上）園児の発育状況に合わせ、完全給食の提供
- （2歳児以上）バイキング給食→(コロナ感染予防対策として一時停止)
- （全園児）おやつを提供
- （保護者）給食参観会→（コロナ感染予防対策として中止）
- （特別給食）行事ランチ・年度末お弁当ランチ・戸外活動用お弁当

今年度より豊かな食の環境を目指し、トライアルメニューとお楽しみおやつの提供開始

(給食献立表) 毎月配布 本日の献立の写真掲示および明日の献立表示 (毎日)

(食育) 給食説明: 栄養士による献立 (食品および栄養素) の説明

→コロナ感染予防対策としてクラス毎、保育士が説明

安心安全な楽しい給食の提供に努めるとともに、子どもが生活と遊びの中で意欲を持って食に関わる体験を積み重ねることで、食事を共に楽しみあう子どもに成長することを願って食育給食を推進する。

食事が子どもの身体だけでなく健やかな心の発達を促す場であることを大切に、以下の点に留意する。

①食事が楽しい時間となるよう努める。

→ (コロナ感染予防対策として黙食を実施)

②離乳期を大切に過ごす。

③子どもが自分の量や、好みの選択ができるよう考慮する。

④子どもが「食べたくない」時があることを大切に考える。

⑤守るべき食事のルールを伝える。

⑥食べ物を粗末にしない。

⑦食事を処罰に使わない。

(13) 健康管理

・医師による園児の健康診断 (村上小児科: 村上仁医師 年2回)

・歯科医師による園児の歯科検診 (かめやま歯科: 亀山太一医師 年2回)

・静岡県予防医学協会による園児尿検査 (年1回)

・歯科衛生士による歯みがき巡回指導 (年1回 3歳児以上)

・フッ化物洗口 (平日給食終了後 4歳児以上)

・緑茶うがいの実施 (乳児クラス)

・手洗い、消毒の徹底

・身体測定 (毎月1回)

・職員の定期健康診断 (年1回)

・職員の検便 (月1回)

(赤痢菌・サルモネラ菌・病原性大腸菌0-157・腸チフス・パラチフス)

→ (コロナ感染予防対策として健康チェック表の記録開始)

(14) 保護者との連携

保育は保護者と共に子どもを育てる営みであり、子どもの24時間の生活を視野に入れ、保護者の気持ちに寄り添いながら家庭との連携を図る。積極的に乳幼児の子どもの育ちを支え、保護者の養育力向上につなげていけるように 以下の方法で『食事』『生活リズム』『衛生』『健康』『子育てについての精神的不安解消』のアドバイスを実施する。

・相談室の利用 (常時)

・ホームページでの情報公開と更新 (常時)

- ・待合室の掲示板での情報公開と更新（常時）

→（コロナ感染予防対策として玄関前特設掲示板を整備）

- ・連絡帳（随時）
- ・園だより（月1回）
- ・クラスだより（季節ごと年4回）

・子育て参考資料の配布（不定期）

- ・その他お知らせ（不定期）
- ・苦情解決システムの継続
- ・地域の各機関との連携
- ・面談（必要に応じて随時）
- ・年度末アンケートの実施

（15）地域との交流

- ・近隣住人・中吉田町内会・春日整備株式会社・HFC・日本平動物園
- ・石村金属工業株式会社・東豊田消防署・県立美術館・株式会社ショクザイ
- ・スター精密株式会社 →（コロナ感染予防対策として見送り）
- ・海外からの視察訪問受け入れ。
- ・子育て支援員研修、保育実習生、ボランティア活動の受け入れ
小中高校生・大学生・専門学生等 →（コロナ感染予防対策として中止）
- ・職場体験学習 →コロナ感染予防対策として中止。アンデルセンの籠の購入のみ

（16）補助事業

- ・延長保育 18：30～19：00

（17）施設整備・管理・安全点検、教材教具の充実

- ・音楽室（ハンドベルの楽譜、合奏の楽譜の整備）
- ・知育玩具室（大工ブロック、ニューブロック、ラキューの整備）
- ・美術室（棚の整備）
- ・おままごとの部屋（ケーキセット、ハンバーガーセット、バーベキューセット、パンセット、和菓子セット、ホットケーキセット、ティーセット、スイーツセット）
- ・園児用合羽（雨具）の購入
- ・保育室（こども用PC6台設置）
- ・園庭整備（園庭の柵設置、サイクリングロード、築山改修、クローバーの種まき、木のチップ敷き、遊具の塗替え、修繕、撤去）
- ・施設整備（ウッドフェンスの塗替え、非常階段の点検修理・トイレ・ドア・網戸等の修理）

（18）機能強化推進事業 総合防災対策のための必要な修繕・物品管理

- ・避難袋の設置
- ・食料・水の点検（全園児・全職員3日分30年度購入済み）
- ・避難用具・災害時用品の点検

- ・移動車2台 ベビーカー1台（2人乗り）の点検、ベビーカーの購入(4人乗り)
- ・AEDの設置1台（毎年更新）の点検
- ・カセットコンロ（30年度購入済み）の点検
- ・保温マット3畳 職員用ヘルメット 幼児用防災頭巾 防滴メガホン設置
- ・発電機
- ・ポータブル電源装置（蓄電池）の点検

(19) 非常災害防止の実施計画

- ・避難訓練 毎月1回（地震 火災 不審者） 総合防災訓練年1回
 - ・交通訓練 園外活動時毎回実施
 - ・静岡南警察署交通安全指導員による交通安全教室（幼児クラス）
 - ・プロレーシングドライバーHELMによる交通安全教室（幼児クラス）
- （コロナ感染予防対策として中止）

(20) 第三者委員会

- ・掲示板・ホームページによるご意見・ご要望・苦情についての窓口の設置と回答の徹底 回答については待合室に掲示

(21) 感染症予防対策

- ・次亜塩素酸を使い床、トイレ、教具の消毒（1日2回実施）
- ・おむつ交換時、使い捨て手袋を使用
- ・紙おむつ自園処分（持ち帰りなし）
- ・加湿空気清浄器を各クラスに設置 常時稼働
- ・温湿度計
- ・洗濯物を分けて洗濯（床拭き、床以外、次亜塩素酸用雑巾）
- ・細めな水分補給の実施
- ・手洗い、うがい指導の実施

【コロナウイルス感染予防対策に関するもの】

- ・健康チェック表の記録
- ・駐車場での園児の送迎
- ・バイキング給食の中止
- ・給食時の間隔をあけて対面にならないテーブル使用
- ・黙食の徹底
- ・乳児の歯みがきの中止
- ・職員と幼児のマスク着用
- ・消毒液を各クラスと玄関ドア前に設置
- ・接触型体温計の再導入
- ・フェイスシールド、不織布マスク（大人用 子供用）の購入
- ・緑茶うがいの実施（乳児）
- ・年間行事の見直し
- ・玄関内吸塵、吸水、抗ウィルスマット設置

- (2 2) 駿河区消防署監査 (4 月)
防火管理者 園長 乾 泰代
須藤商会による防災設備の第三者確認

- (2 3) 行政監査 (9 月)
→ (コロナ感染予防対策として書面監査)

3. 保育理念

『Montessori ちゃいるどはうす』は生命の保持と情緒の安定を土台とし、0 歳の 3 つの視点 (人・もの・自分)、保育指針の 5 領域 (健康・人間関係・環境・言葉・表現) 及び、小学校までに育ってほしい 10 の姿までの総合的関わりを重視している。モンテッソーリ教育法と自然体験活動を融合させた内容で、子ども達の興味関心を大切に、実際に体験することで、全ての子どもが持っている『生きる力』を育成していく場を愛と知識を持って提供する。

4. 令和 3 年度保育目標について

『いろいろなことに挑戦できる子』

『自分のことは自分でできる子』

『やさしく強い心を持った子』

この三つの保育目標と新保育所保育指針の 5 領域である健康/人間関係/環境/言葉/表現を基に、子どもの個の発達を捉え、歳児別目標、年間目標及び第四期に分けて年間計画を作成した。

(1) 歳児別目標

- 0 歳児
- ・保育士との基本的信頼関係のもと、色々な遊びを楽しむ
 - ・一人ひとりの食事、排泄、睡眠の生活リズムで心地よく過ごす
 - ・歩行ができるようになり、探索活動を盛んに行う
- 1 歳児
- ・探索活動を楽しみ、周りの環境に興味を持つ
 - ・保育士と一緒に食事や排泄、着脱を繰り返す中で自分で出来る楽しさを味わう
 - ・自分の思いや気持ちを保育士に伝えようとする
- 2 歳児
- ・全身(体・指先)を動かして保育士、友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ
 - ・基本的な生活習慣(排泄・着脱・身支度)の自立を目指し身の回りのことを自分でしようとする
 - ・ごっこ遊びや模倣遊びを楽しみ友だちとの関りを広げる
 - 自分の思いを言葉や行動で伝える
- 3 歳児
- ・お仕事に興味を持って取り組み経験を増やす
 - ・身支度や後始末を自分で行う
 - ・異年齢での集団遊びや生活を楽しむ
- 4 歳児
- ・経験したことを生かし自ら挑戦する

- ・自分のやるべきことが分かり自分から行動する
 - ・自分の気持ちと相手の気持ちの違いを知り友だちと関わる
- 5歳児
- ・自分に自信を持ち様々なことに挑戦する
 - ・自分で考え行動することができる
 - ・お友だちの気持ちを知り協調しながら問題解決をしていく

5. 特別教育

日々の養護的な関わりをベースに以下の教育内容を実施

(1) 自然教育

子どもたちが自然の不思議さや素晴らしさに出会い、発見する機会をできるだけ多く提供する。生物室や畑や毎日の散歩、生物室での観察飼育活動、畑での収穫体験活動を設定。ありのままの自然を体験しながら、自然の一部である自分を愛する心と尊い自然を守る気持ちを育む。

生物室

幼児クラスの生物室で、園庭で見つけたバッタやおむし、ダンゴ虫等様々な生物に興味、関心を持ち、子どもたちが「生物係」の役割をもって飼育。

園庭隅には「生物のお墓」スペースがあり、「生」から「死」まで責任をもってお世話する気持ちを育む。

→飼育している生物

- ・魚類 金魚 メダカ
- ・両生類 ウーパールーパー
- ・昆虫類 カブトムシ クワガタ 蝶の幼虫
- ・鳥類 セキセイインコ
- ・その他 カタツムリ サワガニ ザリガニ

畑

2月 ジャガイモ植え付け：(3歳児以上)

4月 夏野菜の種まき・植え付け：トマト・きゅうり・ピーマン・赤しそ
・とうもろこし(3歳児以上)

5月 ジャガイモ堀り：(1歳児以上)

→クッキングでポテトサラダに使用予定(3歳児以上)であったが、
コロナ感染予防対策として中止し給食室で調理する

6月 さつまいも植え付け：(3歳児以上)

6月～8月 夏野菜収穫：(1歳児以上)

○トマト ○きゅうり ○オクラ

→収穫時の試食、たたききゅうり等のクッキングは中止し給食室で調理

○オクラ・ピーマン：断面の形を見て楽しむ 中身の観察 野菜スタンプ

○しそ：しそジュース作り(5歳児) 試飲(3歳以上)

→コロナ感染予防対策として中止、しそふりかけ作り(5歳児)に変更

○とうもろこし：乾燥後、一粒ずつ取り出しポップコーン作り(2歳児)

9月 冬野菜植え付け：ブロッコリー・白菜・キャベツ・カリフラワー(4歳児)

大根種まき（5歳児/1人1本の自分の大根を育てる）

11月 さつまいも堀り（1歳児以上）

例年はクッキングでスイートポテトに使用（1、2歳児）

→乳児はふかして試食 幼児はスイートポテト作り・試食

焼き芋大会 焼き芋試食（全クラス）

→コロナ感染予防対策として中止

◇つるでクリスマスリース作り（3歳児以上）

11月～1月 冬野菜収穫

○ブロッコリー・白菜・キャベツ・カリフラワー：茹でて試食（給食室で調理）

○大根：給食室で調理 →1人1本自分の大根を収穫し持って帰る（5歳児）

○はるみ：試食（全園児）

2月 ジャがいも種芋の植え付け（4歳児以上）

花壇

子どもたちが自由に摘んで、保育室に飾りやすい草花の種類を主体に植栽。

（摘んだあとも次々につぼみがつく、茎が長い、茎が強い、開花時期が長い草花）

・春 チューリップ、ムスカリ、ビオラ、姫金魚草など

・夏 マリーゴールド、日日草、金魚草、ジニア、トレニア、ブルーサルビアなど

・秋～冬 マリーゴールド、ジニア、千日紅、コリウスなど

・通年 ハーブ（ローズマリー、レモンバーム、タイム）触って香りを感じられる

12月は、子どもと一緒にチューリップの球根を植える（全員）

※外の壁面下は危険防止も含めプランターを並べる（通年常緑の宿根草を主体に植栽）

※園庭ドングリの落ち葉で、腐葉土作り。秋のチューリップ植え付け時に使用する

散歩

中吉田公園、中ノ郷公園、谷田宮の後公園、谷田芝生広場、県立美術館、熊野公園、国吉田公園、瀬名川南公園、瀬名川公園、ひょうたん塚公園、清水山公園、ふれあい広場、園周辺、静鉄電車の線路まで

11月 塚本農園での収穫体験

→親子参加型でサツマイモの芋ほり体験実施（幼児クラス以上）

(2) モンテッソーリ教育

子どもの発達の課題は、運動の獲得・言葉の獲得・意志の発達・知性の発達・社会性の発達・感覚の発達等、共通している。それらの発達の課題は、大人が教えるのではなく子どもが興味のあるものに自分から五感を使って感じ、動きを通して獲得されていく。

マリア・モンテッソーリが120年以上前提唱した「子どもの遺伝子にプログラムさ

れている発達の課題には、時期と順番がある。子どもは、内在している『自己教育力』により、安心安全な環境(人・物・事)に関わることによって健やかに成長していく。」という考え方は、医学や科学の進歩によって証明され、現在では世界共通の教育のスタンダードとなっている。

『モンテッソーリ教育法』の考え方を基本とし、子どもが主体的に個々の発達に見合った環境と関わりながら成長できるようにという願いを込めて環境を整えた。

毎日の生活の中で、発達段階に応じて以下の分野の活動を展開している。

- ・日常生活の練習・感覚教育・言語教育・算数教育・文化教育・平和教育・音楽
- ・美術・造形
- ・今ある子どもの姿を捉え、発達段階に合ったモンテッソーリ教育に関するお仕事の紹介。(月1回外部モンテッソーリ教育専門講師によるオンライン指導)
- ・1年を通して様々な教具や教材に触れ、経験を積み重ね、視野を広げながら、子どもたちの「自分で出来る」という自信と意欲向上に繋げ、更なる成長を願い援助。
- ・今年度も草薙園と連携し、保育士のお互いの学びの場としてオンラインに参加する事を可能とした。

(3) バイリンガル教育(0歳～5歳児)

「これからの国際社会を生きていく子どもたちのための外国語体験プログラム」として、①日本語以外の言語に親しむことを通して、他者との違いや文化の多様性への興味関心を育む。②英語を使ったコミュニケーションを楽しむことを通して、積極的に他者と関わろうとする意欲を育む。③日本語以外の言語を使う体験をし、国際社会で活躍していくための素地を育む。ことを目的としている。

・フォニックス音を体験できる Lesson Plan 環境との整備

- ・日本語以外の言語を母国語とするバイリンガル講師と毎日一緒に生活し、日常的に関わることでできる環境を用意する。
- ・バイリンガルの時間を設定し、英語にふれ、発音を聴きとったりするとともに幼児クラスでは、聞いた音と文字とを結びつける活動を行う。(フォニックス)
- ・日常生活の中で、大人も子どももバイリンガル講師との簡単な英語でのコミュニケーションを楽しみ、「伝わって嬉しい」体験を増やす。

・バイリンガル講師がメインティーチャーとなる「バイリンガルデイ」

(月：ピッチーノ、火：プーポ、水：幼児クラス、木：ピッコロ、金：(草薙))

- ・バイリンガル教育で経験したフォニックス音をアルファベットに対応させながら小学校に入学するまでに読み書きができるようになることを目標にした「スペシャルプログラム(年長児)」を本年度より実施

(4) プログラミング教育(年長児)

プログラミング教育は、自分なりの目的やゴールを決め、それを達成するために必要な動きを順序だてて論理的に考える力を高めていくことをねらいとしている。お話作りや絵本などを含めた生活の中での遊びを通して想像力を育むことを基本とし、ロボットの動きをイメージできるための自己認知力を高める運動や、実際にコマンドを組み合わせてプログラムする体験を行った。プログラミング玩具に加え、ICTに親しむことを目的に子供用 PC6 台を設置した。

(6) クッキング(歩けるようになって手が使えるようになってから)

例年は、週に2回のクッキングの活動では以下の物を作りおやつなどで試食。

バナナの皮むき、みかんの皮むき、枝豆の皮むき、ゆで卵の殻むき、クラッカー
ジャムサンド、梅ジュース、シャーベック、スイートポテト、たたききゅうり、ホッ
トケーキ、クッキー、カレーライス、みかんジュース、ヨーグルトカップケーキ、お
好み焼き、おにぎり、その他庭で収穫した野菜で即席漬物等を実施。

→コロナ感染予防対策として事業を縮小して実施した。

今年度実施項目：みかんジュース・フルーツカクテル・カップケーキ
・おにぎり・シソのふりかけ・梅ジュース

(7) リトミック (2歳児頃から)

楽しく音楽と触れ合いながら、子どもの心と体が、身体的、感覚的、知的にも大きく育つ
可能性を広げる。生物の進化の過程を体現した“さくらさくらんぼリズム”に親しむ。

(8) 発達支援 (個別の支援の検討・計画・実施・評価)

すべての子どもにそれぞれの個性があるように、その成長の仕方も様々である。同
じ環境であっても困り感を抱え、それをうまく表現することが苦手な子どももいる。
保育園という集団生活の中で、個々の成長や気持ちに寄り添い、子どもが自立してい
くために必要な支援を行う。

また、何らかの原因で言語や発音の習得に誤りや遅れがみられる場合、それが、日
常生活に支障をきたしたり、自己肯定感を損なったりする心配がある時、もしくは子
ども自身が改善に対して前向きな気持ちがある時には、保護者、保育士、指導担当との
相談の上、個別に言語指導を行う。

(9) その他外部講師による特別教育

①リーベ式運動遊び (室内の運動遊び)、ボルビ (屋外のボール遊び) (3～5歳児)

目 的

- ・室内や屋外で思い切り身体を動かし、リズムやバランス感覚を始めとした 様々
な運動の調整能力を高める。
- ・友だちと一緒に活動することを通して仲間と協力する喜びや貢献感を得て自ら
の存在価値を感じる。

内 容

- ・月に2回 (リーベ式、ボルビを各1回ずつ) 1回45分程度
- ・子どもの「興味」「関心」「意欲」を自然に引き出し、思い切り身体を動かすこと
ができるようにイメージ (物語) に入り込んで遊ぶ。
- ・グループやチームになって活動する中で、互いに動きを観察したり応援したりす
る。

→コロナ感染予防対策として後期からは、屋外でのボルビを月2回実施

②日本文化体験 (2～5歳児)

目 的

- ・華道、書道、茶道等、日本独特の美しく豊かな文化を体験し、和を尊ぶ心を養う。

内 容

- ・幼児クラス 週1回 (華道、書道、茶道のいずれか) 45分程度
- ・2歳児クラス 月1回 (フラワーアレンジメント) 30分程度

③スイミング (3～5歳児)

目 的

- ・水に親しみ、着替えや、準備運動や入水などの水泳の基本を身につける。
- ・大きなプールで水泳を楽しむ。

内 容

- ・年間15回 1回1時間（バスによる送迎有）
→コロナ感染予防対策として 4～6月は中止
- ・中田スイミングスクール指導員による水泳指導

6. 特別教育会計報告

(1) モンテッソーリ教育費会計

(収入) 保護者徴収費	<u>825,108円</u>
(協力金にて毎月一人1,000円/今年度退園された方は日割り計算)	
(支出) 外部講師代	<u>750,000円</u>
教具代金	<u>804,047円</u>
(英語・言語・感覚・絵本・PC・教材他)	
職員研修参加費	<u>660,000円</u>
支出合計	<u>2,214,047円</u>
収入－支出＝	<u>－1,388,939円 (園負担)</u>

(2) バイリンガル教育費会計

(収入) 保護者徴収費	<u>825,108円</u>
(協力金にて毎月一人1,000円/今年度退園された方は日割り計算)	
(支出) 外部講師代	<u>750,000円</u>
内部講師代	<u>4,036,272円</u>
支出合計	<u>4,786,272円</u>
収入－支出＝	<u>－3,961,164円 (園負担)</u>

(3) スイミング徴収費会計

(収入) 保護者徴収費	<u>450,000円</u> (一人一回1000円)
(支出) 中田スイミング	<u>450,000円</u>
収入－支出＝	<u>0円</u>

(4) 日本文化体験プログラム会計

(収入) 保護者徴収費	<u>0円</u>
(支出) 外部講師代	<u>88,500円</u>
教材(材料)費	<u>80,774円</u>
支出合計	<u>169,274円</u>
収入－支出＝	<u>－169,274円 (園負担)</u>

(5) リーベ式運動遊び・ボルビ運動遊び会計

(収入) 保護者徴収費	<u>0円</u>
(支出) 外部講師代	<u>605,660円</u>

収入－支出＝	－605,660円(園負担)
--------	----------------

(7) コロナ対策による行事の DVD 作成

(収入) 保護者徴収費 (撮影料) 54,000円

(支出) はばたきの会 77,000円

支出合計 77,000円

収入－支出＝	－23,000円 (園負担)
--------	----------------

7. 主な行事 (コロナの感染状況によって開催については随時検討していく)

4月 動物教室 (5歳児)

5月 こいのぼり集会

親子遠足

→コロナ感染予防対策として中止

バイリンガルフォニックス導入のためのコアミーティング研修開始

バイリンガルデイの開始

6月 保育・給食参観会

→コロナ感染予防対策として中止

給食トライアルメニュー開始

台湾より視察訪問

→コロナ感染予防対策として中止

トロベーダンス教室 (幼児クラス)

音楽鑑賞会 (ハーブ演奏会)

MACTE 視察園訪問 (米国教育省認定モンテッソーリ教師養成認定組織)

雨の日体験開始

7月 七夕集会

七夕・交通機関を利用したの清水の七夕見学 (幼児組)

→コロナ感染予防対策として中止

交通安全教室: 静岡南警察署 (幼児)

花火教室 (幼児)

8月 スイカ割り大会

夏祭り

夏期希望保育

地域子育て支援事業『ベビーマッサージ』

9月 乳児親子リクリエーション (0, 1歳児)

→コロナ感染予防対策として中止 (動画で配信)

10月 環境学習 (3歳児以上)

→コロナ感染予防対策として中止 (リサイクルぐるぐるプロジェクト参加)

ハロウィン

1 1月 草薙と合同運動会：中吉田公園（2歳児以上）

粘土教室（3歳児以上）

→コロナ感染予防対策として中止

塚本農園親子芋ほり体験

1 2月 クリスマス会

おにぎり散歩/県立大学 芝生園地（3歳児以上）

歯みがき巡回指導（3歳児以上）

手作りお弁当の日

1月 鏡開き

地域子育て支援事業『親子でベビーマッサージ』

→コロナ感染予防対策として中止

2月 節分

はばたきの会

→コロナ感染予防対策として保護者不参加で平日開催 DVD作成

3月 ひな祭り

お弁当ランチ

お別れ遠足（ひょうたん塚公園、芝生園地）

卒園式

8. 令和3年度新たに取り組んだ保育内容（コロナの感染状況によって随時検討）

- ・雨の日体験を可能にするために、子どもの雨具を購入し、園庭側デッキに柵を整備した。
- ・2歳児クラス的环境整備。美術や音楽のスペースの拡充
- ・幼児クラス 知育玩具の部屋の整備大工ブロック→ニューブロック→ラキュー
- ・バイリンガルフォニックスの本格的導入と各クラス的环境整備
- ・0歳児クラスのオンライン研修参加開始（教材制作と環境へのアプローチ）
- ・給食トライアルメニュー開始
- ・音楽鑑賞会の開催（ハーブ演奏）
- ・塚本農園親子芋ほり体験の企画実施
- ・プログラミング教育の拡充
- ・年長児スペシャルプログラム『アルファベットの読み書き』
- ・子どもが多様な事象に関われるようになるための文化教材の絵カードの整備。
- ・園庭遊具の拡充（キックバイク、足こぎ車）
- ・集会、行事等の見直し（乳児と幼児に分かれて実施）
- ・豊かな食の環境を目指し、トライアルメニューとお楽しみおやつの提供開始
- ・コロナ感染予防対策としてクラス毎、給食時に保育士が説明

9. 令和4年度の新たな取り組みの計画（コロナの感染状況によって随時検討していく）

- ・コロナ感染拡大防止対策の継続（体調チェックや駐車場での送迎方法の検討）
- ・自然教育の充実と園外活動の充実
（塚本農園体験の拡充企画検討、悠木の森体験の企画検討）
- ・積み木教室の実施
- ・トロベーダンス教室の実施
- ・リーベ式・ボルビ運動あそびの継続
- ・プログラミング教育の継続と拡充
- ・モンテッソーリオンライン実践活動の継続と拡充
- ・オンライン研修の継続と充実
- ・バイリンガルクラス継続と拡充
- ・教材室 教具の棚の整備
- ・各クラスの棚の整備
- ・教材 絵カードの充実
- ・花火教室、粘土教室の実施（幼児クラス）
- ・幼児クラス はいチーズ企画/ヤクルト教室の参加
- ・モンテッソーリ教師養成コースへの参加
- ・職員リーダー教育への取り組み
- ・その他子ども達の最善の利益に合わせた活動の充実

10. 職員処遇についての新たな取り組み

- ・職員一人一人の豊かな生活の質の向上を図り、笑顔を日々の保育に還元し、子ども達の最善の利益につなげていく事を目的とし、『クオリティーオブライフ計画(年間一人3万円)』を福利厚生制度に導入。
- ・職員退職金制度を整備。